

平成21年度 中間会社説明会

～平成22年3月期 第2四半期決算概要～



株式会社 山形銀行

目 次

～平成22年3月期 第2四半期決算概要(単体)～

■ 収益の状況(単体)	1	■ 第16次長期経営計画の概要	9
■ 預金、貸出金の状況	2	■ 第16次長期経営計画の経営目標	10
■ 自己資本比率、Tier 比率、アウトライヤー基準	3	■ 県内三行間預貸金シェア	11
■ 不良債権(金融再生法開示債権)	4	■ 仙台地区貸出金シェア	12
■ 有価証券運用	5	■ 法人部門 (事業性貸出金の増強)	13
■ 経費削減	6	■ 法人部門 (経営支援の強化)	14
■ 今期の収支計画	7	■ 個人部門 (住宅ローンと預かり資産)	15
		■ 個人部門 (機能強化チャンネルの拡充)	16
～第16次長期経営計画における		■ 経営基盤の強化	17
経営戦略について～		■ アライアンス戦略	18
■ 山形県・仙台市の経済	8	■ 環境保全活動と地域貢献活動	19
		■ 株主の皆さまへの還元	20
		■ 「山形現象」について	21
		■ 山形の「日本一」「世界一」企業	22

平成22年3月期 第2四半期決算概要(単体)

収益の状況(単体)

各収益項目は本格的な回復に至らないものの、預貸金業務は順調に推移

(単位:億円 億円未満切捨て)

	20年9月期	21年9月期	増減額
業務粗利益	88	142	53
うち 資金利益	131	125	6
預貸金利息	86	96	10
有価証券利息	43	30	12
うち 役務取引等利益	21	18	2
うち 国債等債券損益	65	1	63
経費	113	108	4
うち 人件費	57	55	1
うち 物件費	49	47	2
コア業務純益	40	35	5
一般貸倒引当金繰入額	0	12	11
業務純益	25	21	46
臨時損益	27	2	25
うち 不良債権処理損失	6	2	8
うち 株式等関係損益	30	1	31
経常利益	2	23	20
特別損益	0	0	0
税引前当期純利益	1	23	21
当期純利益	7	14	7

コア業務純益

資金利益は、貸出金の積上げにより利息収入が増加したものの、有価証券利息配当金の減少を主因に前年同期比6億円の減少
 役務取引等利益は、投資信託の販売が本格的な回復に至らず、前年同期比2億円の減少
 経費は、全般的な合理化により、人件費・物件費ともに削減効果が表れ、前年同期比4億円の減少

経常利益

国債等債券損益は、前年同期に実施した債券の減損処理や売却損計上の反動により大幅に改良
 株式等関係損益は、前年同期に実施した株式売却益の反動減により大幅に減少
 お取引先の再生支援に注力するとともにより厳格な基準に基づいた自己査定を実施し、一般貸倒引当金は11億円の増加、不良債権処理損失は8億円の減少

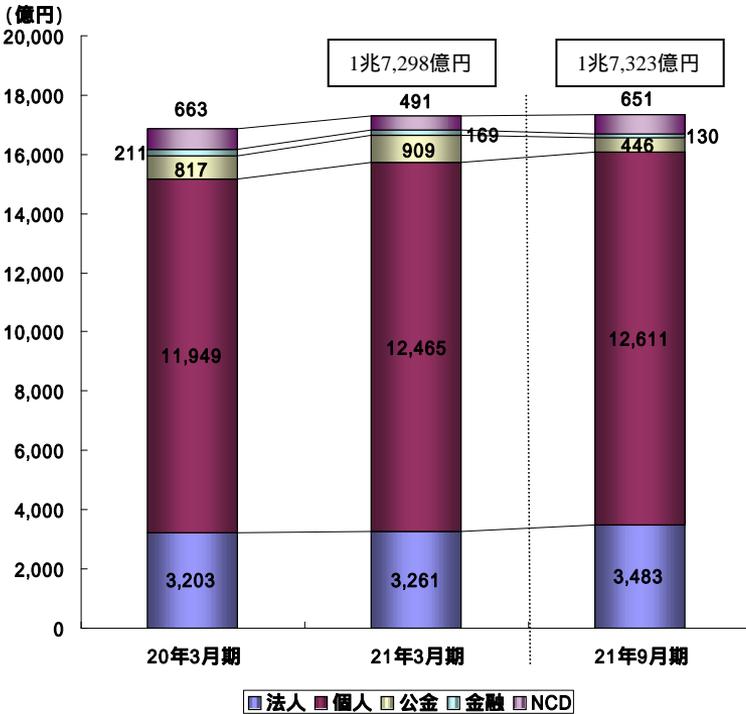
当期純利益

当期純利益は、経常利益が大幅な増益となったことを主因として、前年同期比7億円の増益

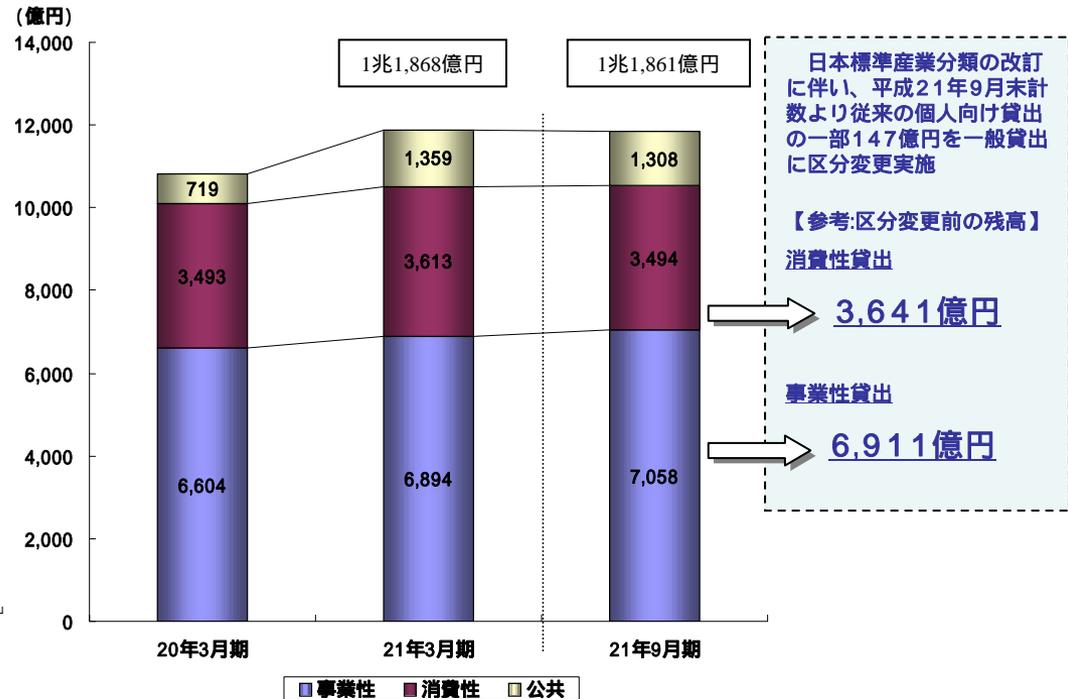
預金、貸出金の状況

預金: 信用のバロメーターとなる預金は、個人預金(前期比プラス146億円)を中心に順調に増加
貸出金: 消費性貸出金は、住宅建設が弱含みとなるなか住宅ローンが順調に増加
事業性貸出金は、資金需要が伸び悩むなか、仙台市を中心に県外貸出が増加

預金(期末残高)の状況

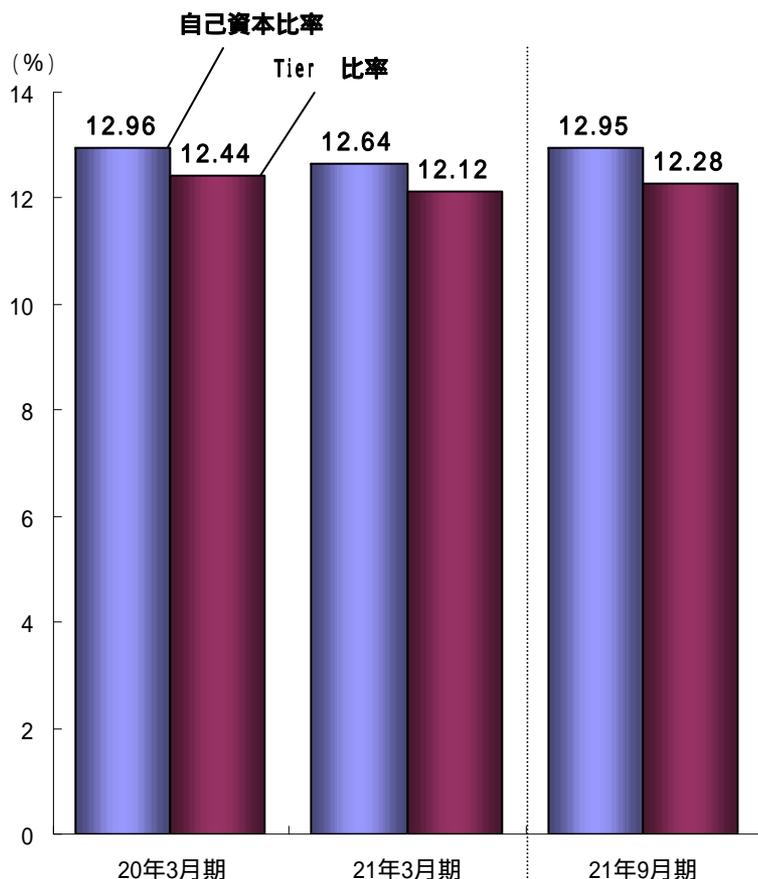


貸出金(期末残高)の状況



自己資本比率12.95%、Tier 比率12.28%と、引き続き高い水準を維持

自己資本比率、Tier 比率(単体)



(単位: %)

	21年9月期		
	21年3月期比	20年9月期比	
自己資本比率	12.95	0.31	0.37
うち基本的項目比率(Tier)	12.28	0.16	0.22
コアTier 比率	10.85	0.25	0.15

コアTier 比率は、基本的項目(Tier)から税効果相当額を控除した比率です。

アウトライヤー基準

金利リスクをコントロールし、アウトライヤー比率は引き続き20%の基準内

金利リスク量	アウトライヤー比率
141億円	13.1%

Tier + Tier = 1,075億円

金利ショック幅 200BPVを採用

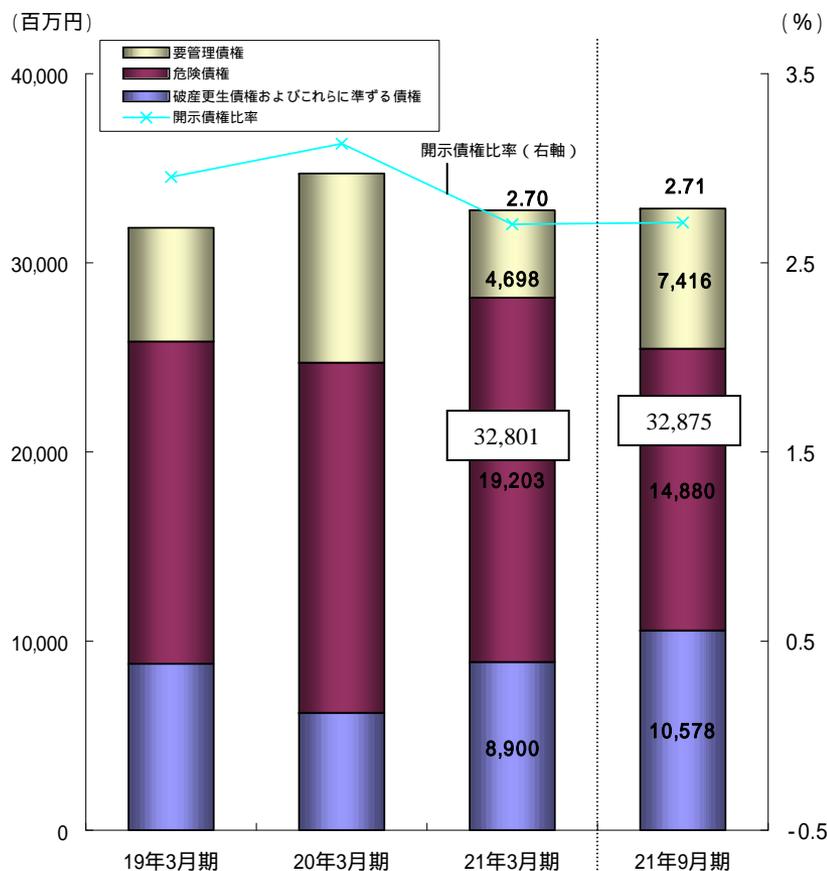
コア預金 内部モデルを採用

アウトライヤー基準: パーゼル 第2の柱で特に重要な項目とされる「銀行勘定の金利リスク」に関する基準で、200BPVあるいは99%タイル値の金利ショックを与えた時の経済価値の低下額を自己資本の20%以下としている。

不良債権（金融再生法開示債権）

金融再生法開示債権比率は2.71%と引き続き良好な水準を維持

金融再生法開示債権残高の推移



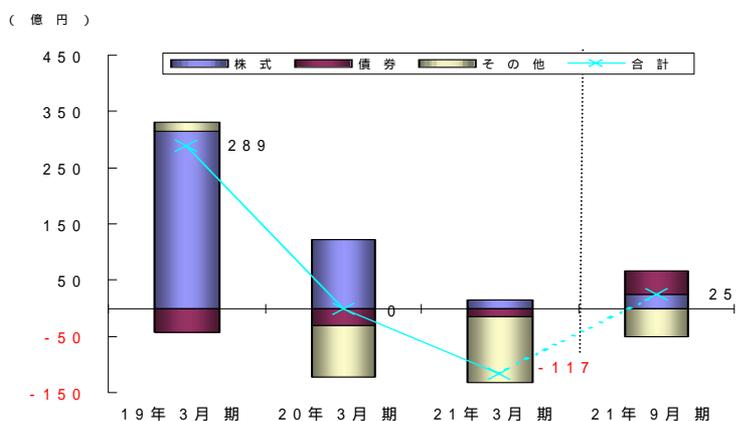
与信費用の推移

	18年9月期	19年9月期	20年9月期	21年9月期
不良債権処理額	551	295	652	246
個別貸倒引当金 繰入額	548	295	617	294
貸出金償却	3	0	0	0
債権売却損等	0	0	0	0
偶発損失引当金 繰入額	0	0	35	48
一般貸倒引当金 繰入額	3	483	47	1,232
与信費用	554	779	699	986
与信費用比率	0.05	0.07	0.06	0.08

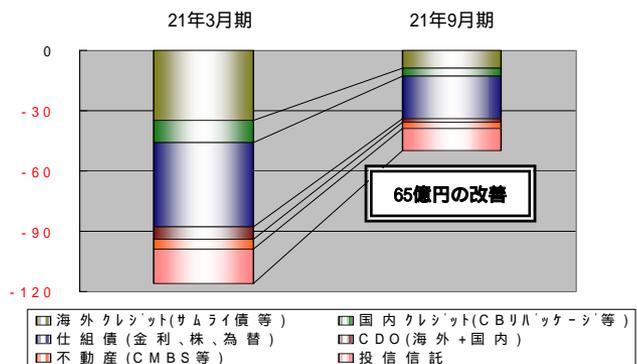
有価証券評価損益は大幅に回復 ポートフォリオは着実な改善がなされている

有価証券評価損益の推移

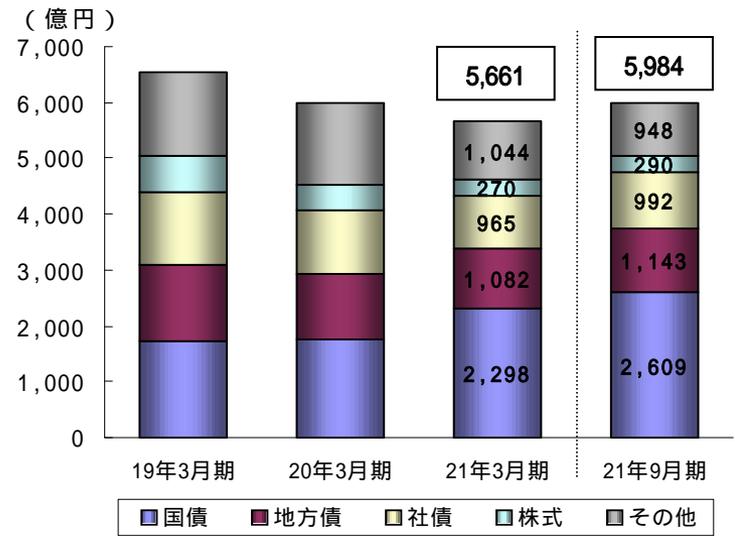
株式・債券・その他の全項目で改善



その他有価証券の内訳



有価証券運用残高

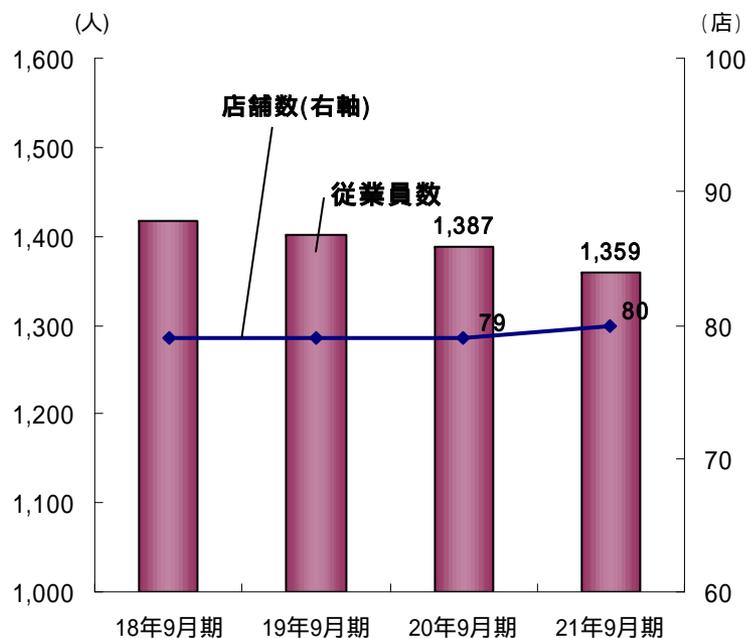


有価証券利回り

	(%, 年)			
	19年3月期	20年3月期	21年3月期	21年9月期
有価証券利回り	1.45	1.41	1.21	1.04
デュレーション	3.14	2.58	3.39	3.40

経費削減プロジェクトの成果により、物件費はほぼ計画通りに削減

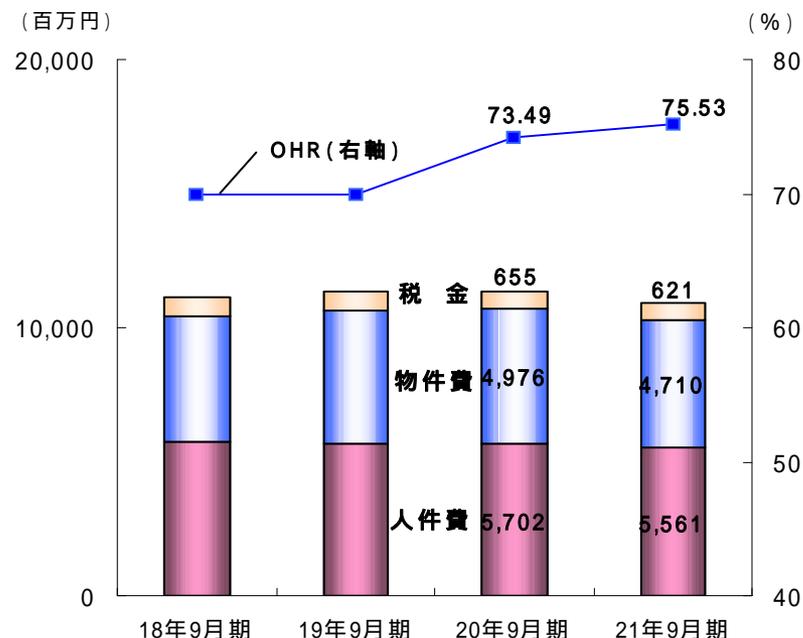
店舗数と従業員



(人、%)

	18年9月期	19年9月期	20年9月期	21年9月期
スタッフ数	699	735	760	773
スタッフ比率	33.7	35.0	36.1	36.2

経費、OHR (国債等債券損益除き)



経費削減プロジェクトにより、平成21年度は
685百万円の削減見込み
 長計物件費削減目標13億円に向けた取り組み
 を継続実施

今期の収支計画

(単位：百万円)

単 体	22年3月期 通期予想	増 減		21年9月期 実績	21年3月期 実績
		21年9月期比	21年3月期比		
経常収益	37,000	18,343	6,481	18,657	43,481
業務粗利益	29,500	15,264	15,620	14,236	13,880
うち資金利益	25,300	12,795	600	12,505	25,900
うち役務取引等利益	4,100	2,226	236	1,874	3,864
うち国債等債券損益	100	85	15,913	185	16,013
業務純益	6,400	4,290	14,881	2,110	8,481
うち一般貸倒引当金繰入額	1,300	68	1,331	1,232	31
経常利益	5,800	3,454	16,869	2,346	11,069
うち不良債権処理費用	700	946	2,412	246	3,112
当期純利益	3,300	1,858	9,187	1,442	5,887
(実質不良債権処理費用計)	2,000	1,014	1,081	986	3,081
連 結					
経常収益	45,000	22,614	6,457	22,386	51,457
経常利益	6,000	3,640	16,782	2,360	10,782
当期純利益	3,300	2,047	9,269	1,253	5,969

➤ 業務純益

業務純益は、平成21年3月期における国債等債券の減損処理や売却損計上の反動により、前年比148億円増益の64億円を見込んでおります。

➤ 経常利益

経常利益は、業務純益の増益見込みから、前年比168億円増益の58億円を見込んでおります。

➤ 当期純利益

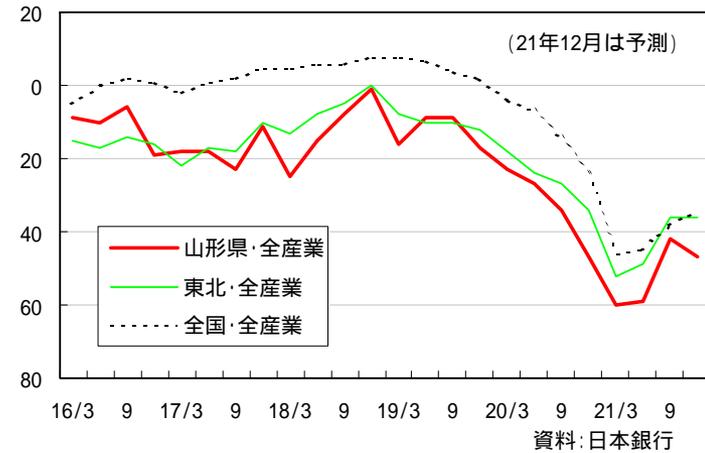
当期純利益は、前年比91億円増益の33億円を見込んでおります。

第16次長期経営計画における
経営戦略について

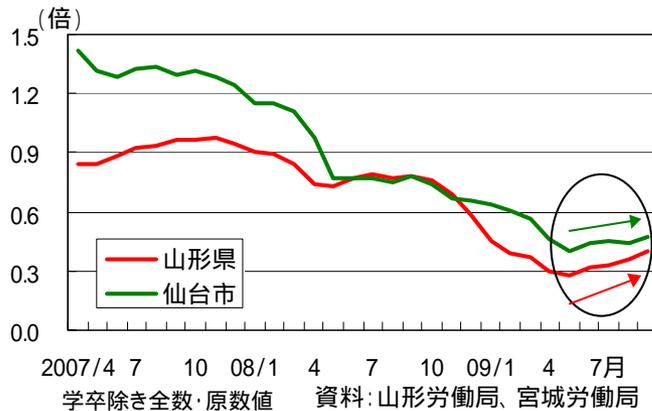
鉱工業生産指数(季調値)



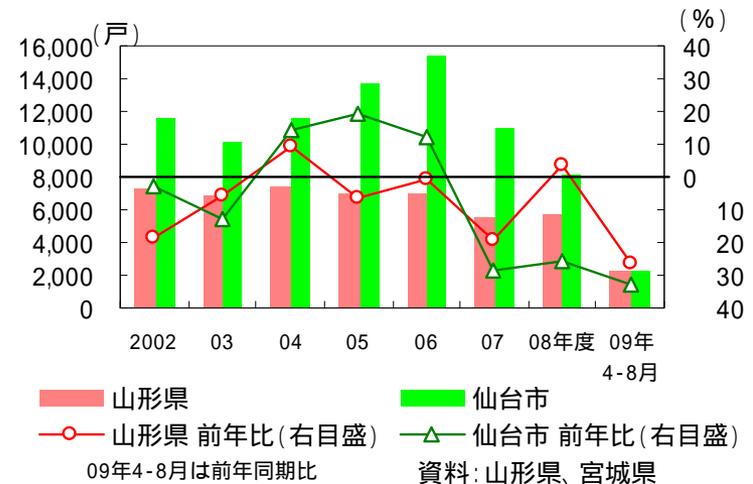
日銀短観 業況判断DI



有効求人倍率

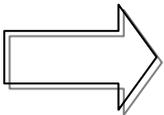


住宅着工戸数



第16次長期経営計画『やまぎん・イノベーション・プラン』

第15次長計の評価・反省
 今後の経営環境の変化に柔軟に対応



構造的課題（重点課題）の解決

重点課題：営業基盤の拡充

相談機能の充実 担当者の集約と人材の集中育成
 地域に合わせた店舗機能 グループ営業店体制
 合理化・効率化 営業店事務の20%削減

重点課題：経営基盤の強化

リスク管理態勢 リスク計量化のレベルアップ
 有価証券ポートフォリオの再構築
 含み損益の回復と拡大、総合利回りの向上

重点課題：地域活力の向上

地域振興 農業・環境など地公体との連携を強化
 企業経営・再生支援 事業承継・企業支援室の増強

重点課題：組織・人事の改革

管理・評価 採算管理の強化、営業店評価の見直し
 人材育成 女性キャリアの育成、多角的な人材管理

「新しい時代における山形銀行としてのCSR（企業の社会的責任）経営」

目指す姿

- 地域に広く貢献する銀行【地域密着】
- 県内基盤の磐石なリーディングバンク【地域からの支持】
- 収益性・効率性を追求し続ける銀行【筋肉質の体質】
- 堅実性・安定性のある銀行【健全経営】
- 組織・人材に魅力ある銀行【活力ある職場】

第16次長期経営計画の経営目標

第16次長計 3年間のイメージ

1年目・2年目は構造的課題の解決に着実に取り組む

チャレンジ

22年度【長計2年目】

チャンス

改革を継続することで
目指す姿が見えてくる年

21年度【長計1年目】

チェンジ

構造改革に

取り掛かる年

23年度(目標) 【長計3年目】

コア業務純益

105億円

コア業務純益ROE

9.00%以上

コア業務純益ROA

0.50%

債券関係損益除きOHR

67%以下

自己資本比率
(Tier 比率)

12%以上
(11%以上)

	20年度 (実績)	21年9月期 (実績)	23年度 (目標)	20年度比 増減額
業務粗利益	138億円	142億円	315億円	177億円
経費	223億円	108億円	210億円	13億円
業務純益	85億円	21億円	105億円	190億円
コア業務純益	75億円	35億円	105億円	30億円

資金利益および役務取引等利益で
22億円の増収
20年度に約160億円の損失を計上した
国債等債券損益の改善で155億円の増収

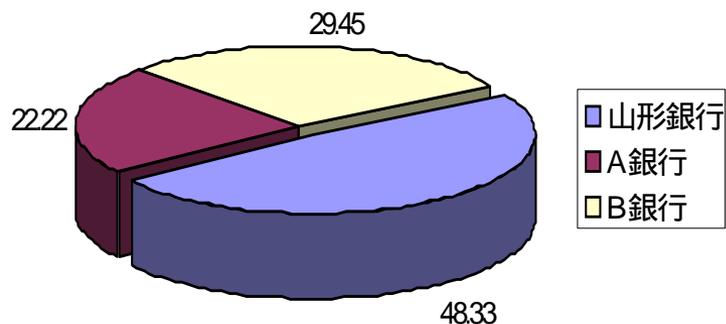
20年度下半期より、経費削減の専担
チームを組成し、物件費の見直しを実施
20年度比で13億円の削減

- ・コア業務純益 = 業務純益 - 債券関係損益 + 一般貸倒引当金繰入額
- ・ROE (Return on Equity / 株主資本利益率) = 利益 ÷ 資本勘定
- ・ROA (Return on Asset / 総資産利益率) = 利益 ÷ 総資産

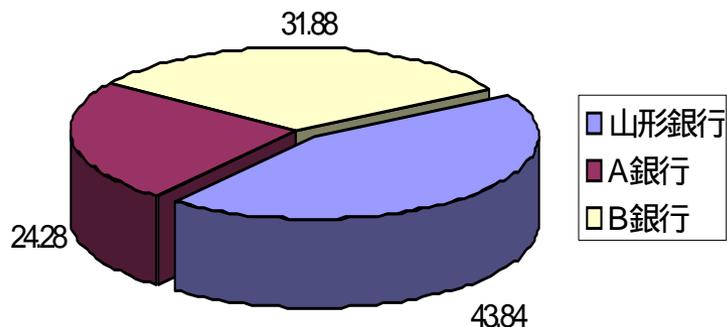
- ・OHR (Overhead Ratio / 業務粗利益経費率) = 経費 ÷ 業務粗利益

過去5年間で、預金は2.62ポイント、貸出金は5.99ポイントのシェアを拡大

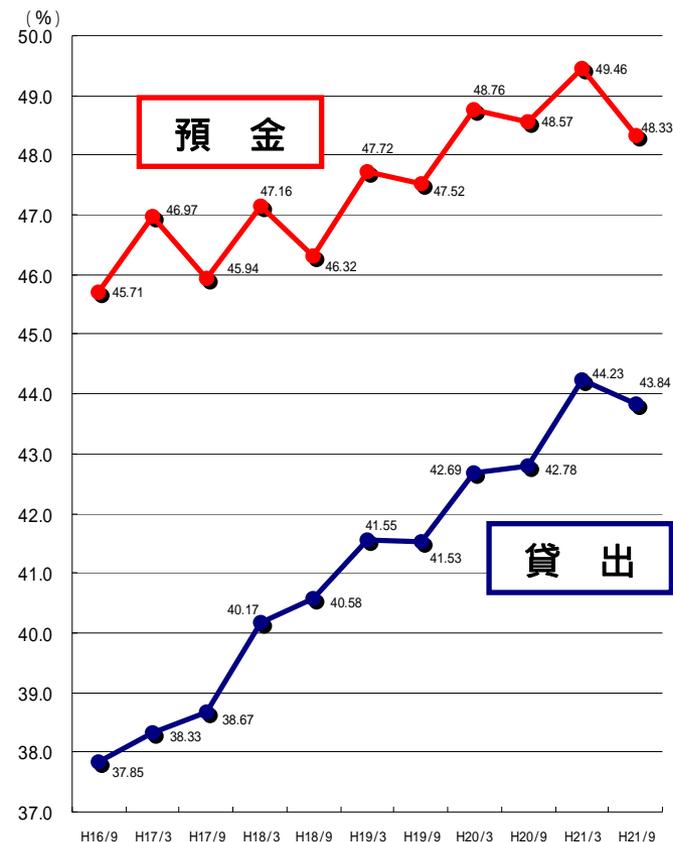
県内三行間預金シェア (平成21年9月末現在:%)



県内三行間貸出金シェア (平成21年9月末現在:%)

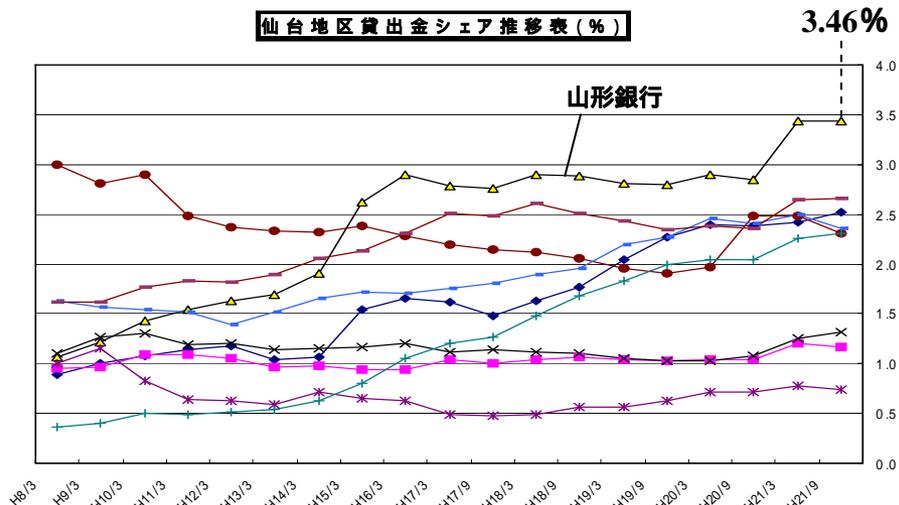


県内三行間預貸金 当行シェア推移



仙台市に進出している地銀・第2地銀のなかでのトップシェアを更に拡大

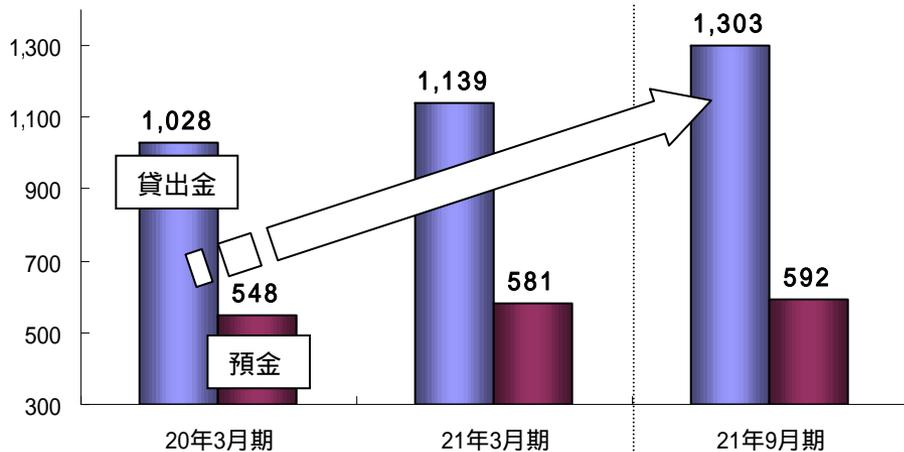
【仙台地区貸出金シェア推移表 (%)】



(億円) 「仙台地区」事業性貸出金平残推移



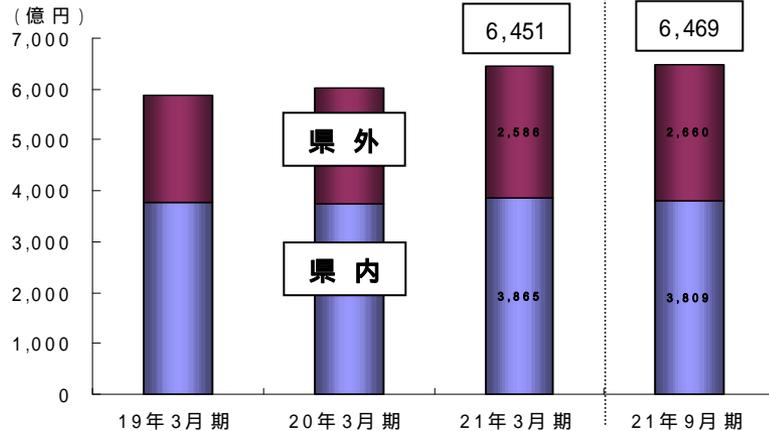
(億円) 「仙台地区」預金・貸出金平残推移



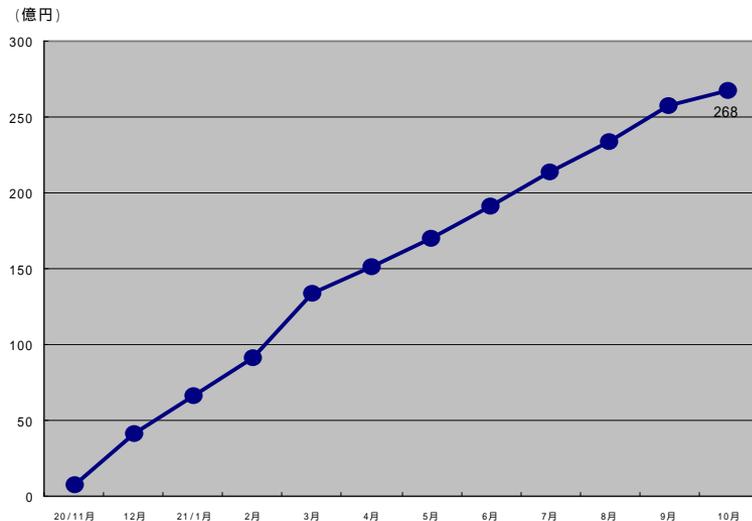
(億円) 「仙台地区」住宅ローン残高推移



事業性貸出の推移 (平残)



緊急保証制度残高の推移



グループ営業店体制の拡充

【グループ営業店体制】

- ・マーケット環境の変化に対応し、法人主力店と個人主力店のグループ化による連携体制
- ・法人・個人分野ともに、渉外力の発揮によるシェアの拡大を図る

同一地区内での
連携体制

法人主力店
【グループ統括店】

個人主力店
【グループ店】

事業性融資の
担当窓口を集約

山形市内4グループ8カ店での導入に続き、平成22年4月より県内2エリア(天童・寒河江)に拡大

事業再生支援の強化

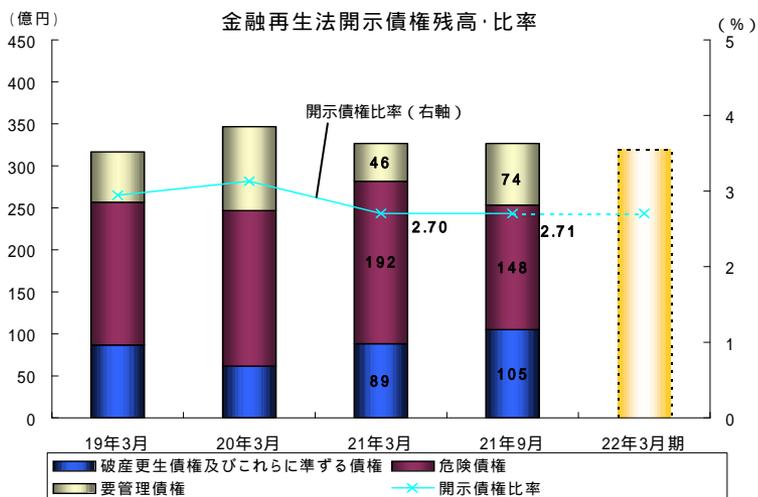
事業再生支援の強化

平成21年4月より2名増員し、支援活動を強化
 本部指定先の経営改善・事業再生支援を強化
 営業店支援先のサポートによる情報共有化と人材育成

連携強化による質的向上

外部専門機関との連携強化による再生手法の習得
 経営改善・事業再生レベル向上とノウハウの蓄積

金融再生法開示債権比率 2%台を維持



企業経営支援の強化

事業承継支援の強化

税理士やコンサルティング会社との連携を強化し、幅広いニーズに対応

ビジネスマッチング支援の強化

平成21年10月「おいしい山形・食材王国みやぎ」
 山形県・宮城県・七十七銀行との共催でビジネス商談会を開催
 (参加企業112社、商談件数503件)
 お取引先のニーズに応じた個別マッチングの支援強化

企業の人材育成支援

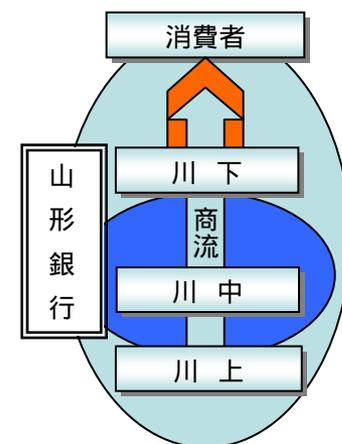
お取引先向けの研修・セミナーを整備・体系化し、「やまぎん人材育成プログラム」として提供

地域振興への取り組み強化

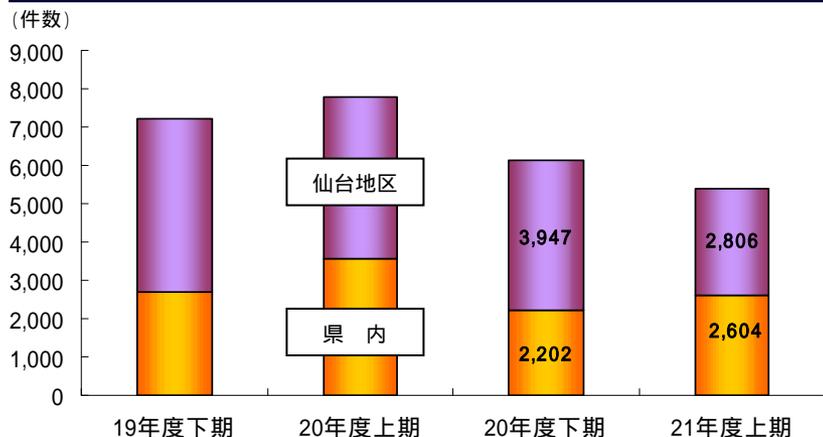
アグリビジネスの強化

< 当行の目指す姿 >

農業と食料品製造業の
 マッチング支援を強化
 川上から川下までの
 商流創造支援を強化
 川上(農業)・川中(食品製造業)・
 川下(流通業・飲食業等)

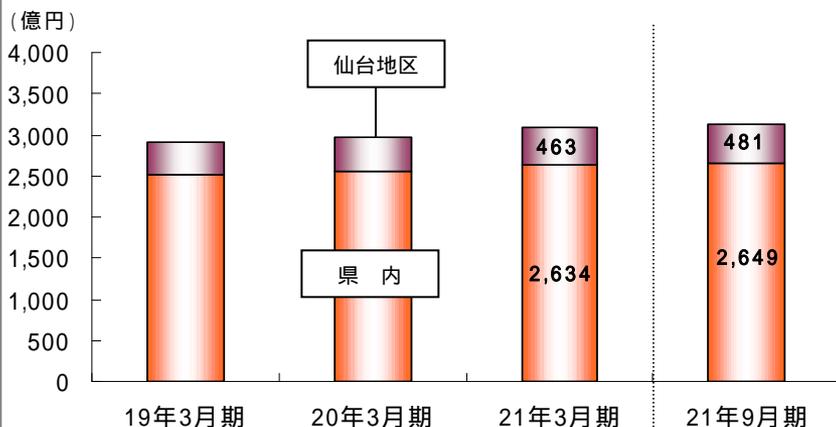


新設住宅着工動向(県内・仙台)



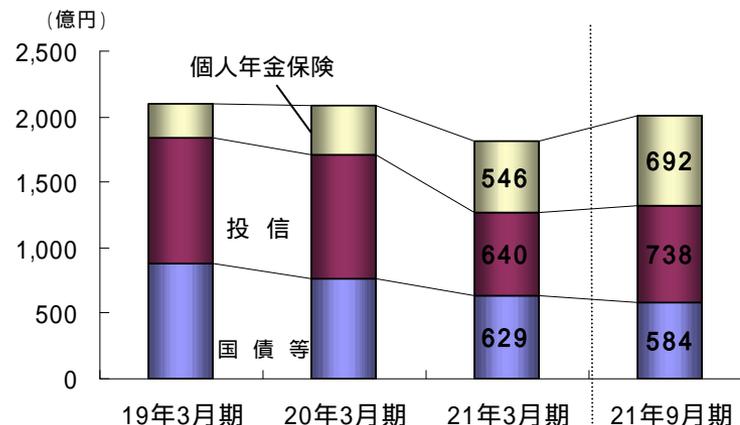
住宅ローン残高推移(県内・仙台)

住宅着工戸数が伸び悩むなか、着実に実績を積上げ

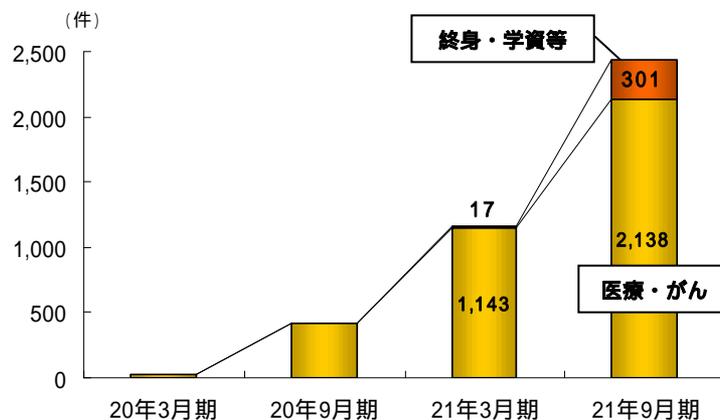


個人預かり資産残高

個人年金保険が大幅に増加 投信残高も回復基調



保障性保険も順調に増加 ラインナップも拡充



みどり町支店リニューアルオープン

鶴岡エリア内における個人主力店舗のみどり町支店を全面リニューアルオープン
既存の住宅ローンプラザに加え、資産運用相談チャネルとして、コンサルティングプラザを新設



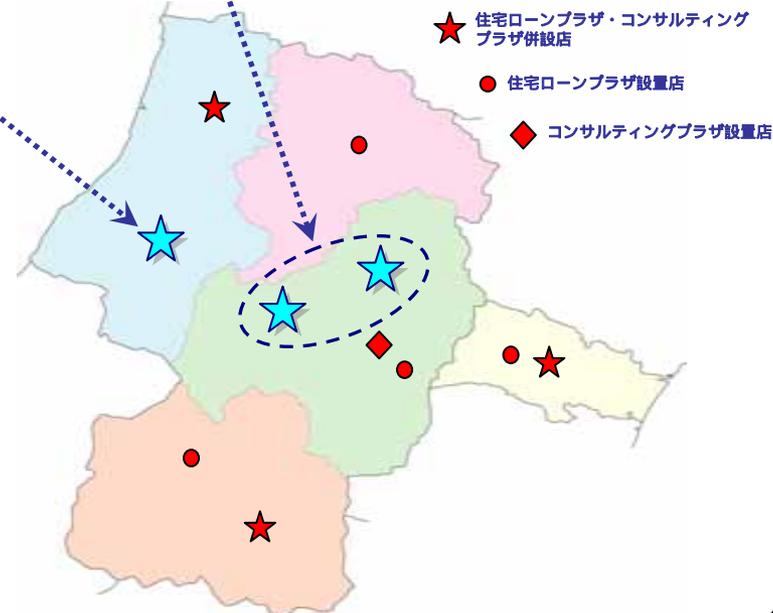
個別相談ブースや、各種セミナーの開催可能なスペースを設置
太陽光発電設備・地下水融雪設備・敷地内緑化・リサイクル材の利用など、環境に配慮した地球にやさしい店舗造り

機能強化チャネルの拡充

住宅ローンプラザ・コンサルティングプラザ

住宅ローンプラザ...県内 8 カ所、県外 2 カ所
コンサルティングプラザ...県内 6 カ所、県外 1 カ所
(平成22年4月より)

平成22年4月に、久野本支店、寒河江支店に両プラザを新設



今後の投資運営態勢とポートフォリオの再構築

対応方針

- 長期的な視点に立ち、アセットアロケーション戦略を強化
- 総合利回り重視のポートフォリオ運営
- 商品特有のリスクや流動性リスク等を踏まえた投資判断
- フロント・ミドル・バックの牽制機能の強化とモニタリング機能の強化
- 業務ローテーションによる長期的な人材育成

ポートの再構築

債券

- ・長期的に「総合損益」「金利リスク」「流動性」を安定させるためのベースとなるポート構築を目指す
- ・環境に応じ、残高・デュレーション・ラダー戦略・クレジット戦略を調整

株式

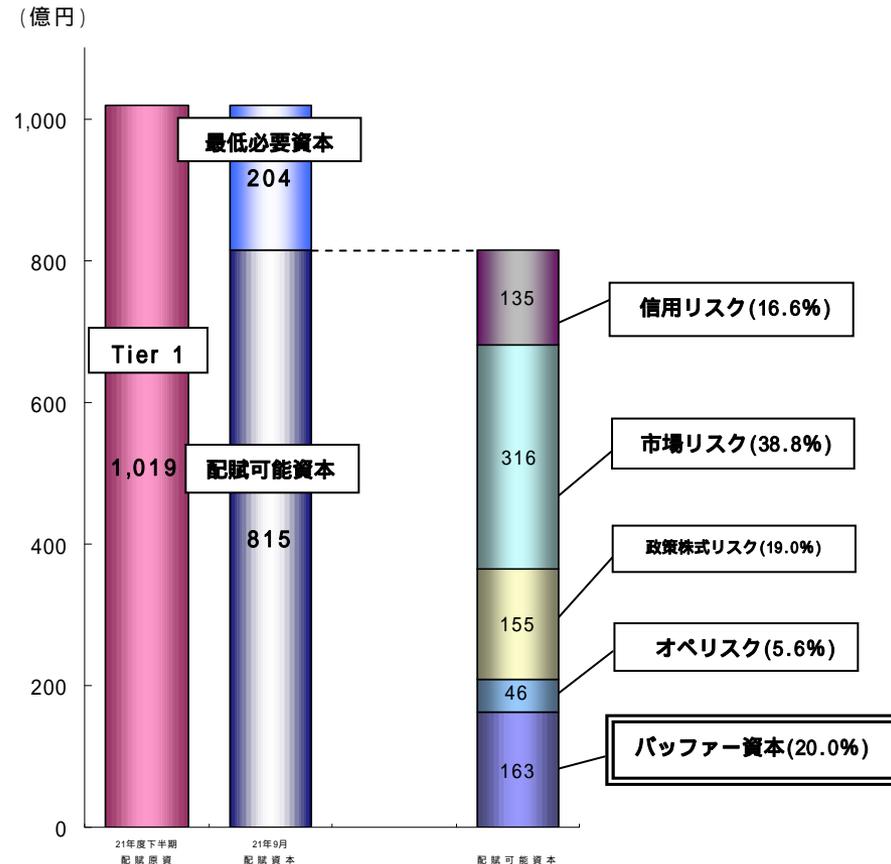
- ・金利との相関を考慮して対応
- ・長期的視点での含み益拡大を目指す

その他

- ・現状、円建外債が太宗を占める
- ・利回りおよび流動性の低い投資資産は圧縮方針

資本配賦の状況

資本の効率的な配賦を実施
想定を超える事象への備えとして、バッファー資本を導入



県内 4 信金とATM業務提携

ぐるっと花笠ネット

平成21年9月より、お客さまの利便性向上を図るため、県内4信用金庫と連携し、ATM相互利用サービス「ぐるっと花笠ネット」を開始



地銀ネットワークによる共同企画

天地人キャンペーン

天地人キャンペーン

大河ドラマ「天地人」のゆかりの地である新潟県の第四銀行、福島県の東邦銀行と共同で定期預金キャンペーンを実施

- 第一弾「愛」(1/13～3/13)
- 第二弾「義」(4/13～6/30)
- 第三弾「完結編」(10/1～12/30)を現在実施中。

ATMのご利用が、さらに便利にお得になりました。

NEW

ぐるっと花笠ネット

山形銀行

米沢信用金庫 鶴岡信用金庫
山形信用金庫 新庄信用金庫

ATM相互利用サービス 無料!

MYキャッシュポイント

ATM 24時間利用可能 無料!

山形銀行 立七十七銀行 高利銀行

ご入金・お引出し

ふるさと山形ネットサービス

山形銀行 さくらが銀行

カード決済 前日無料
24時間 24時間

環境保全活動

「エコキャップ推進運動」



開発途上国の子供たちへ

H21.7.1から9.30まで

回収実績 189,960個 ポリオワクチン237人分

「山形県地球温暖化アクションプログラム」への参加

当行は、本店ビルのCo2削減目標をマイナス14%に設定し取り組んでいます

環境配慮型商品の提供

【個人のお客さま】

エコ住宅ローン各種 エコキャンペーン（マイカー・リフォームローン）

【法人のお客さま】

エコ私募債 その他環境配慮型商品の営業・販売サポート等

地域貢献活動

明日を担う子供たちへ

金融経済教育

明日を担う子供たちの健全な金銭感覚を養うとともに、社会のしくみを理解し、自らの責任において主体的な経済活動ができる人材の育成を図るため、小・中学校を中心に、金融経済教育を実施しています。



地域のスポーツ振興に向けて

ライヤーズ

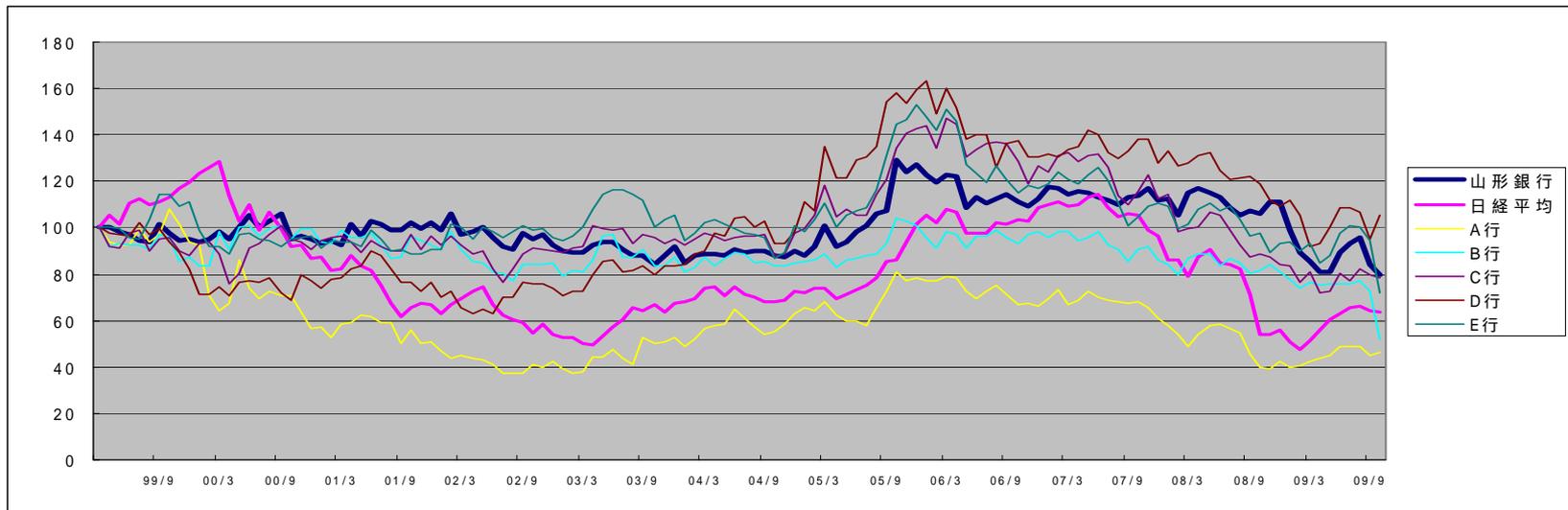
女子バスケットボール部「ライヤーズ」を中心とする山形県チームは、今年度の新潟国体において優勝いたしました。



地域のスポーツ振興のため、ジュニア選手を対象とした「バスケットボールクリニック」も継続的に行っております。



過去10年間の東北県都地銀6行の株価推移 (1999年3月末 = 100)



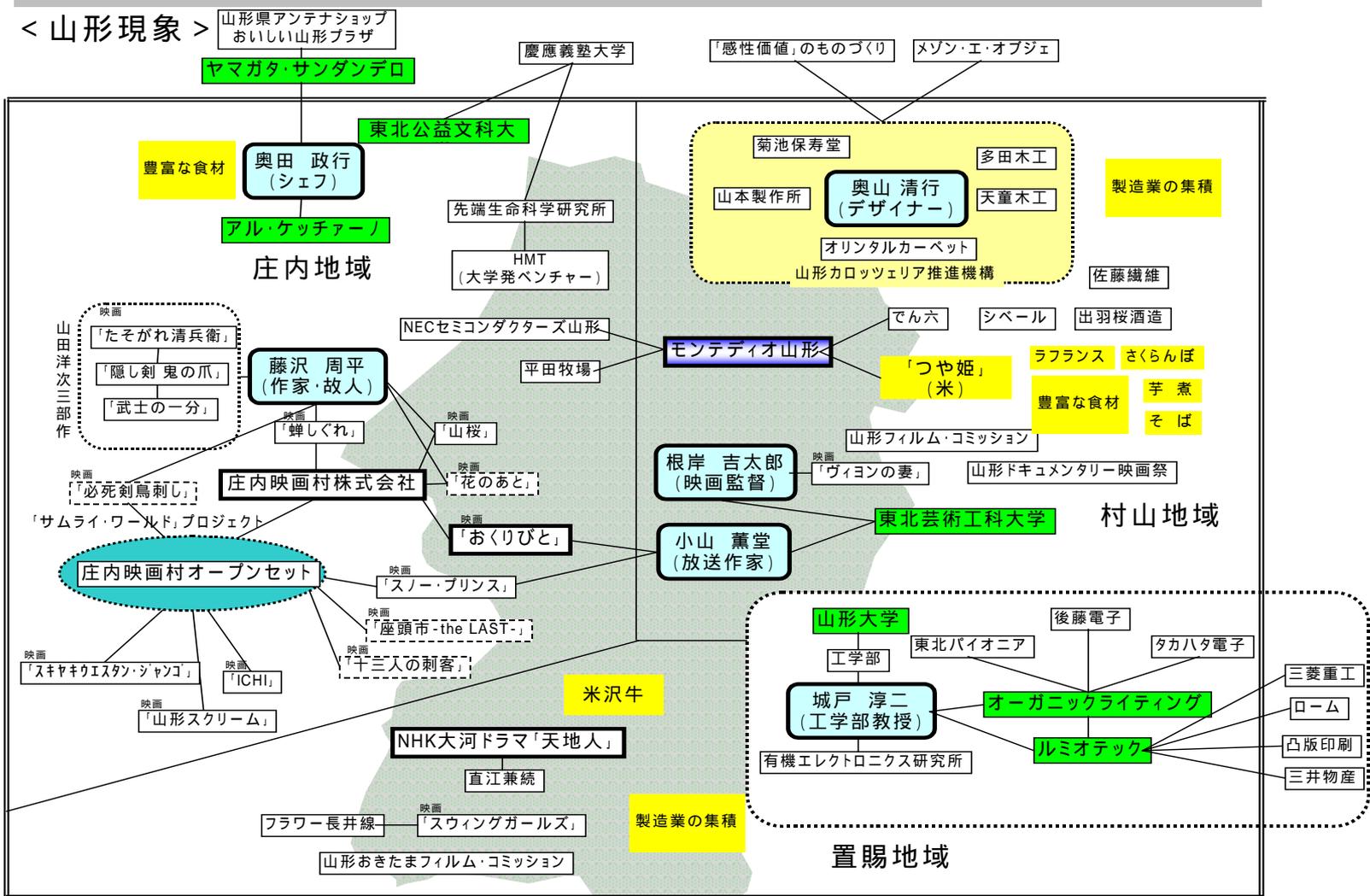
1株当たり配当金の推移

	18年度 実績	19年度 実績	20年度 実績	21年度	
中間配当金	2円50銭	3円	3円	3円	実績
期末配当金	3円	3円	3円	(3円)	予定
年間配当金	5円50銭	6円	6円	(6円)	予定

配当の方針

- ・従前は、年間1株当たり5円の配当を安定的に行ってきたが、平成18年度期末より、業績連動型を志向し、1株当たり3円の増額配当を行った。
- ・以後、業績連動型を志向しながら配当性向20%前後を目安に安定した配当を実施。平成21年度の期末配当金も、中間配当金と同額の1株当たり3円の配当を予定している。

多方面にわたる「山形発」のムーブメントが話題となり、「日経エンタテインメント!」等で「山形現象」と紹介されました。



山形の「日本一」「世界一」企業



1. 山形のシェア「日本一」「世界一」

企業名	市町村	日本一の項目	シェア
アイジー工業株式会社	東根市	金属サイディングの製造	国内トップシェア
株式会社アマルメ工芸社	庄内町	金属製鬼飾りの製造	国内トップシェア
エムテックスマツムラ株式会社	天童市	自動車のシャフト部品の製造	世界シェア20%
株式会社鈴木製作所	山形市	家庭用高級ロックミシンの製造	国内シェア90%
株式会社トップパーツ	長井市	組立端子板の製造	国内シェア80%
株式会社高研 鶴岡工場	鶴岡市	アテロコラーゲン研究試薬キットの製造	国内トップシェア
天童将棋株式会社	天童市	将棋駒の製造	国内シェア80%
株式会社ナプテスコ 山形工場	村山市	商用車用エアドライヤーの製造	国内トップシェア
株式会社日東ベスト	寒河江市	どんぶりの素(牛井など)の製造	国内シェア25%(1位)
北栄鉄工株式会社	鶴岡市	漁業用砕氷機の製造	国内トップシェア
マール・インジック・コンポネンツ・システム株式会社 山形3工場	鶴岡市	ディーゼルエンジン用ピストンの製造	国内シェア80%
テービ工業株式会社	寒河江市	シリンダライナの製造	国内トップシェア
ハイメカ株式会社	米沢市	タンタルコンデンサ製造装置の製造	世界シェア75%
オリエンタルカーベット株式会社	山辺町	手織段通の製造	国内シェア50%
山形スリーエム株式会社	東根市	道路交通標識の製造	国内シェア100%
株式会社ウエノ	鶴岡市	トイダルコイルの製造	国内シェア40%
株式会社マルハチ	庄内町	茄子の漬物の製造	国内シェア20%(1位)
東北バイオニア株式会社	天童市	パッシブ型有機ELの製造	国内トップシェア
曙ブレーキ山形製造	寒河江市	ブレーキパッドの製造	国内シェア40%
精英堂印刷株式会社	米沢市	水なしパッケージ印刷	国内トップシェア
日本地下水開発株式会社	山形市	無散水式消融雪工事の施工	国内シェア50%
城戸メノウ乳鉢製造所	鶴岡市	メノウ製乳鉢の製造	国内シェア100%
株式会社ナチ東北精工	山形市	油圧可変ペーンポンプの製造	国内シェア80%
株式会社ナガオカ	東根市	レコード針の製造	世界トップシェア

2. 山形の「日本一」「世界一」受賞企業

企業名	市町村	受賞対象	賞名	主催
有限会社後藤屋	高島町	米沢牛入りも煮	第46回全国推奨土産品審査会	全国観光土産品連盟
株式会社菊地保寿堂	山形市	和鉄ポット「MAYU」	2006年グッドデザイン賞	(財)日本産業デザイン振興会
吉田畜産株式会社	山形市	ヤークトブルスト(ハム)	IFFA2007(独・畜産品見本市)	
株式会社織元山口	米沢市	-	金賞	
庄内たがわ農協	鶴岡市	はえぬき類	第2回ものづくり日本大賞	経済産業省
出羽桜酒造株式会社	天童市	純米吟醸「一路」	平成19年度優良ふるさと食品中央コンクール	(財)食品産業センター
株式会社森環境技術研究所 ほか	新庄市	ボンテラン工法	国際ナショナル・ワイン・チャレンジ	William Reed Publishing Ltd.
株式会社ウエノ	三川町	-	国土技術開発賞	(財)国土技術研究センター
精英堂印刷株式会社	米沢市	オフセット(カラープロセス)	2008年日経ものづくり大賞	日経新聞社
城北精工株式会社	山形市	-	第20回世界ラベルコンテスト	FINAT、TLM1、JFLP
有限会社肉の斎藤	川西町	牛腸	第30回食品産業優良企業等表彰	(財)食品産業センター
慶応大学先端生命科学研究所	鶴岡市	メタボローム測定装置	平成20年度優良ふるさと食品中央コンクール	(財)食品産業センター
有限会社新藤酒造店	米沢市	本醸造「裏・雅山流香華」	国際ナショナル・ワイン・チャレンジ	(社)発明協会
佐藤繊維株式会社	寒河江市	-	発明協会会長賞	William Reed Publishing Ltd.
オリエンタルカーベット株式会社	山辺町	-	第3回ものづくり日本大賞	経済産業省
有限会社朝日町ワイン	朝日町	朝日町ワイン ロゼ	第3回ものづくり日本大賞	経済産業省
			2009年国産ワインコンクール	同実行委員会
			農林水産大臣賞(最高賞)	
			日本商工会議所会頭賞	
			金賞	
			経済産業大臣賞	
			農林水産大臣賞(最高賞)	
			チャンピオン・サケ	
			入賞	
			日経BP特別賞	
			3年連続最優秀賞	
			農林水産大臣賞(最高賞)	
			農林水産大臣賞(最高賞)	
			発明協会会長賞	
			トロフィー(部門最高賞)	
			経済産業大臣賞	
			経済産業大臣賞	
			3年連続カテゴリー最優秀賞	

本資料の将来に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご留意ください。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社山形銀行 総合企画部
TEL 023 - 623 - 1221